

週刊

# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754  
いはら 忠 ☎(488)7207

発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5  
☎(483)1151

## 集会施設の電気代補助復活に感謝の声

現在、各町会・自治会などで新年度の総会が開かれています。そのなかで話題になっているのが、集会施設管理運営補助金として交付されていた電気代補助がなくなると思っていたが、これまで通り受け取ることができてよかったとの声が寄せられています。

当初秋葉市長は、集会施設管理運営補助金について、予算化せず廃止することにしていました。この措置に対し、町会・自治会関係者などから強い疑問が出され、日本共産党にも「廃止しないでほしい、継続のために頑張ってもらいたい」との要望が寄せられました。

日本共産党も、3月議会の一般質問で、「町会・自治会の意見も聞かずに廃止するのは認められない、町会・自治会は、日頃より行政の業務の一部を肩代わりし住民サービスを担っている」と指摘し、予算の復活を求めてきました。

## 議会から修正案を提案し可決

そもそも昨年秋の事業仕訳のなかでも、要改善ということで、又少数では事業廃止との意見はなく、現行通りとの意見があったにもかかわらず、秋葉市長は、この事業仕訳さえも無視して事業廃止を決めてしまったのです。

新年度予算が審議された3月16日の予算特別委員会で、「事業の廃止・見直しにあたって議論や市民への説明が足りていない」と、集会施設管理運営補助金（1227万7千円）を含む総額5282万円の増の修正案が提案され可決されたものです。

その後、3月20日の総括審議でも可決されました。

## 「戦争立法」許すなの声が広がる

安倍内閣と自公政権は、5月の連休明けにも、海外でアメリカと一緒に戦争できる国をめざし、「戦争立法」を国会に提案しようとしています。

これまで歴代の自民党政府は、憲法9条のもとで「集団的自衛権の行使はできない」としてきたものを、1内閣である安倍政権が、これまでの解釈を変え、集団的自衛権行使容認する閣議で決定してしまいました。

その具体化に向け、自民党と公明党が密室で協議を重ねています。しかし、その中身は、「平和」という言葉を隠れ蓑に、海外で戦争できる国へ進めようというものです。

第2次世界大戦を経験した方から日本共産党八千代市議団に痛切な声が届いています。「どんなことがあっても戦争だけはしちゃダメ」「どれだけ言葉に表せないほどの苦痛を味わったのか」という思いが語られています。

「戦争立法」ストップの声を大きく広げ、日本共産党八千代市議団は市民のみなさんとともに憲法9条を守り抜きます。

